

問 教育環境の整備は 答 実情に合せて整備を図っていく



大久保 帝二 議員

問 小規模校における学級の児童の実態について伺います。

教育長 現在、小規模校、大規模校について明確な規定概念はありません。その人数に応じた特色ある経営をすることが重要だと思います。五霞町の小中学校においては、それぞれの学校の人数に応じた特色ある教育を実施し成果も上げております。

教育次長 五霞町は、小学校が2校、中学校が1校それぞれの学校の実態に促した学校運営をしております。小規模校ではありますが、その特性を生かした学校経営の実践として切磋琢磨や競い合いが少なく、学習意欲の問題が懸念されます。しかし、小規模校では、教材や教具が個別に準備できる環境にあります。また、一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細

かな教育指導や補修授業の指導等も容易であります。また、休み時間や放課後、清掃活動など他学年との交流を通して、児童生徒が信頼感で結ばれております。生徒指導の面におきましても、実態把握が容易で問題行動について早期発見、早期対応に努めています。

問 学校の施設整備の状況とその活用について。

教育長 施設整備については予算面もありますので、町財政と打ち合わせながら整えていきたいと考えています。

教育次長 特別教室の空調設備につきましては、町内の小・中学校3校とも、パソコン室には、エアコンが設置されております。東小学校のプレハブ教室、西小学校の外国語活動教室、中学校の外放送設備については不備な状況になつております。また、余裕教室につ

きましては、小学校1・2年生の生活科の学習教室の他、各学校とも、少人数学習室や資料室として活用しております。

問 交通指導や補修授業の指導等も容易であります。また、休み時間や放課後、清掃活動など他学年との交流を通して、児童生徒が信頼感で結ばれております。生徒指導の面におきましても、実態把握が容易で問題行動について早期発見、早期対応に努めています。

教育次長 郷土を愛し愛校心を育むには、保護者、地域との連携が重要であります。東小学校のケヤキ祭り、西小学校の西小祭り、中学校のかすみ祭など学校、保護者、地域社会が一体となり学校主催の行事を行つております。さらには、ふれあい祭り、文化祭などには、小・中学生が参加して町の行事を盛り上げてくれています。授業におきましても、社会人を招いて地域で専門知識のある方、高齢者の知恵を活かさせていただき、習字、米づくり、着付け、掃除の仕事、昔の話などの授業を実践しております。子どもたちにも大変好評で、地域の方々への尊敬と感謝の気持ちを持つことができます。このような取り組みが郷土を愛し、愛校心を育むと思っております。

問 郷土愛や愛校心を育む教育について。

教育長 愛校心や郷土愛について、重要な教育内容です。そのためには、良いところを発見し、学校や郷土を好きになることだと思います。例えば、五霞町では九十九里体験交流の特色ある経営の中



東小学校プレハブ教室

たいと考えております。

教育次長 郷土を愛し愛校心を育むには、保護者、地域との連携をしながら、登下校や学校生活の安心・安全を図るという両面から進めていきたいと考えています。

教育次長 交通安全の面では、自転車の安全な利用、点検や整備について理解を深め、交通の決まりを守つて安全な乗車ができるよう指導しております。また、PTAによる朝の立哨指導で子どもたちの登校時の安全確保を図っております。さらに、下校時には、青少年問題協議会を構成する各種団体の協力を得まして、下校時間に合わせたパトロールの実施、子どもを守る110番の家の設置、警察、交通安全母の会、交通安全協会の皆さんのご協力による交通安全教室も実施しております。

問 児童生徒の登下校における安全指導について。

教育長 安全教育につきましては、地域の人たちとの連携をしながら、登下校や学校生活の安心・安全を図るという両面から進めていきたいと考えています。

問 児童生徒の登下校における安全指導について。

教育長 安全教育につきましては、地域の人たちとの連携をしながら、登下校や学校生活の安心・安全を図るという両面から進めていきたいと考えています。

問 児童生徒の登下校における安全指導について。

教育長 安全教育につきましては、地域の人たちとの連携をしながら、登下校や学校生活の安心・安全を図るという両面から進めていきたいと考えています。